

予算の概要

2月18日から3月24日まで開かれた平成26年習志野市議会第1回定例会にて可決されました。

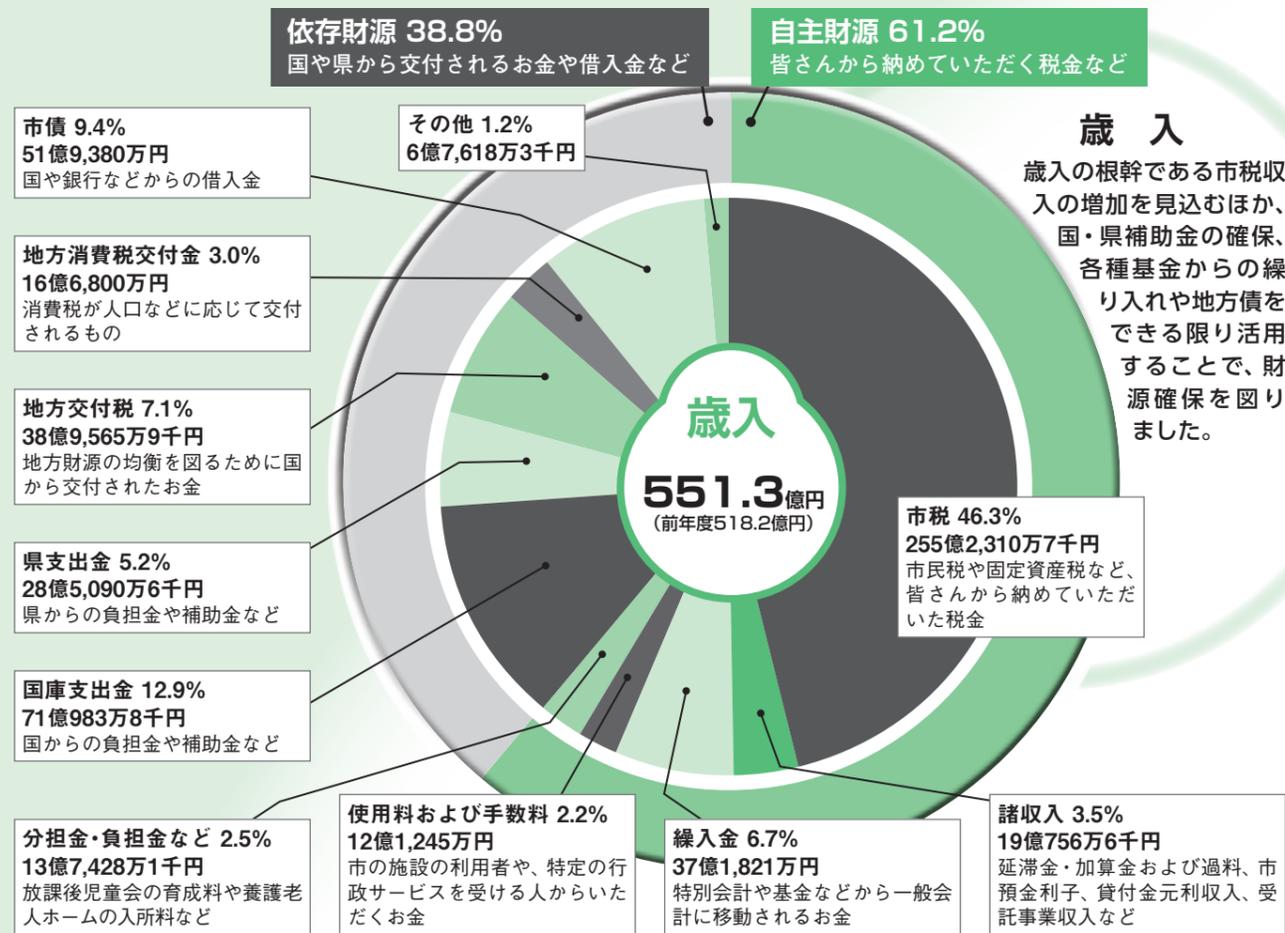
「未来のために～みんながやさしさでつながるまち～習志野」の実現に向けて

平成26年度の一般会計当初予算総額は、前年度に比べ、6.4%増の551億3千万円です。この他、新庁舎建設に向け、5年間109億9,800万円の債務負担行為予算※を計上しました。

今年度は、市制施行60周年を記念し、各種記念事業を実施するほか、公共施設の老朽化対策として、改築、改修や耐震対策などに取り組むなど「未来へつなぐまちづくり再生予算」として予算編成を行いました。

※債務負担行為とは、歳出予算とは別に定める予算で、翌年度以降にわたる支出を伴う契約を締結するにあたり、あらかじめ予算の一部として事項、期間および限度額を定めるものです。

問合せ 財政課



歳入
歳入の根幹である市税収入の増加を見込むほか、国・県補助金の確保、各種基金からの繰り入れや地方債をできる限り活用することで、財源確保を図りました。

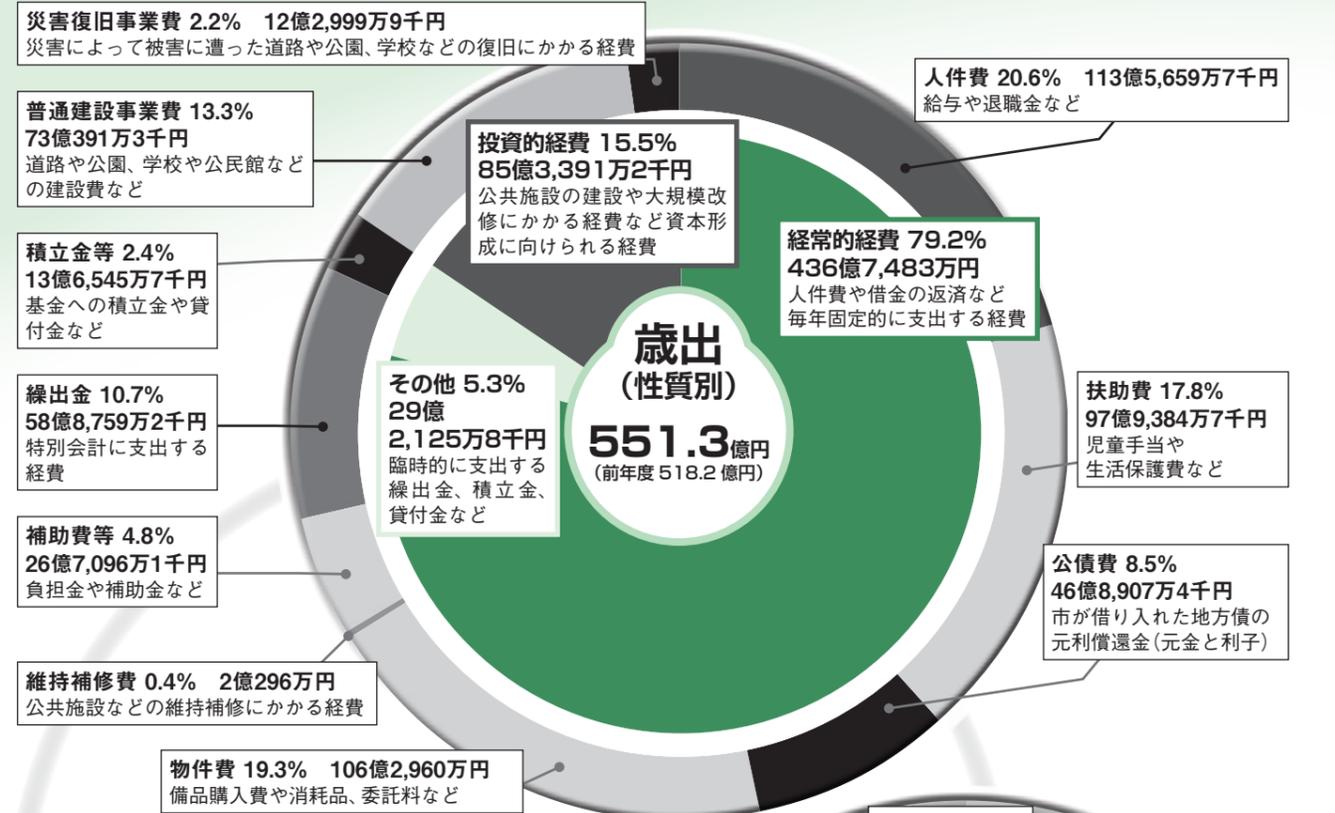
全ての会計の予算規模

会計名	平成26年度	対前年度比
一般会計	551億3,000万 円	6.4%
特別会計	335億6,525万 円	6.2%
国民健康保険会計	149億7,582万 円	-0.8%
公共下水道事業会計	73億3,046万4千円	15.5%
介護保険会計	96億8,925万4千円	11.3%
後期高齢者医療会計	15 億6,971万2千円	8.0%
公営企業会計	167億2,110万 円	33.9%
ガス事業会計	138億8,400万 円	42.7%
水道事業会計	28億3,710万 円	2.8%
総計	1,054億1,635万 円	9.9%

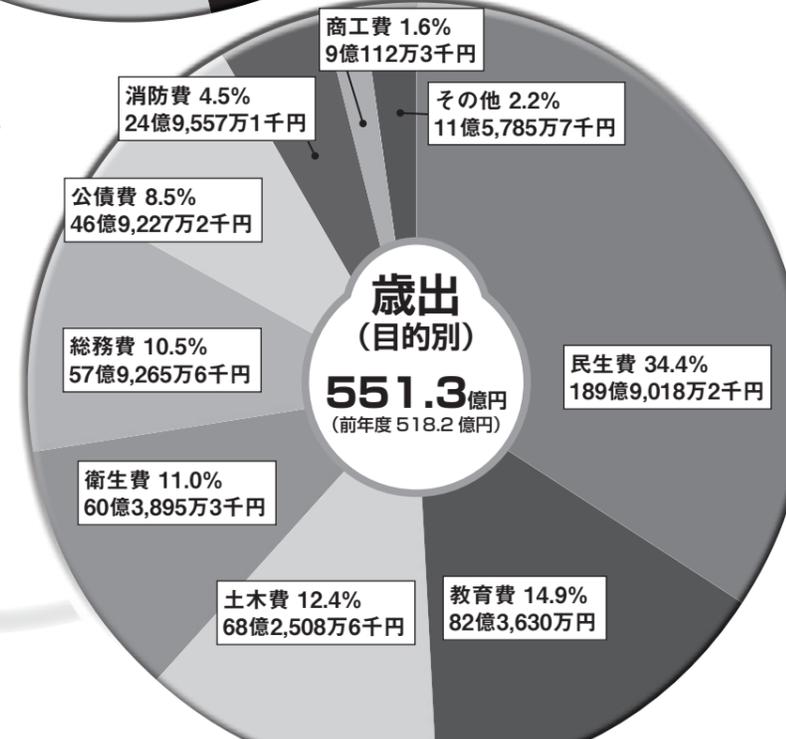


市ホームページに平成26年度予算の概要を掲載しています。

トップページ▶市政情報▶財政・会計
▶予算の概要▶平成26年度予算の概要



歳出
全体の34.4%を占める民生費は、消費税率改定等に伴う臨時福祉給付金給付事業や民間認可保育所施設整備費補助事業などにより、前年度と比べ増額となっています。また、14.9%を占める教育費は、安全・安心な教育環境の整備として、小・中学校耐震化事業や鹿野山少年自然の家耐震化事業などを計上しています。



▼市民1人あたりに換算すると…

予算額 (一般会計) **33万3,737円/人**
(前年度比17,140円増加)

{ 市税額 15万4,508円/人 }
(前年度比3,503円増加)

民生費	障がい者・高齢者福祉、子育て支援などの費用	11万4,960円
教育費	学校・公民館・図書館などの費用	4万9,859円
土木費	道路、公園などの費用	4万1,317円
衛生費	ごみ処理、健康増進などの費用	3万6,558円
総務費	市役所管理、税金の徴収などの費用	3万5,067円
公債費	借入金(市債)の返済金	2万8,405円
消防費	消防、防災などの費用	1万5,107円
商工費	商工業や観光の振興のための費用	5,455円
その他	議会運営・農業の振興などの費用	7,009円

※平成25年12月末日現在の住民基本台帳人口(165,190人)を元に一人あたりの予算額を計算しています。